LIXIL
Link to Good Living

PRESS RELEASE

株式会社 LIXILグループ

報道関係各位

2020 年 2 月 6 日

水リスクへの取り組み調査「CDPウォーターセキュリティ2019 Aリスト企業」に選定
水に関する多面的な取り組みにより2年連続の最高評価

株式会社 LIXIL グループ（以下 LIXIL グループ）は、国際的な非営利団体 CDP※1 が実施する水資源管理に関する調査において、事業や製品・サービスによる水の保全やグローバルな衛生課題の解決に関する様々な活動が評価され「CDP ウォーターセキュリティ 2019 A リスト企業」に選定されました。

CDP は、ESG（環境・社会・ガバナンス）情報の重要性が高まる中で、多数の機関投資家と協働して、世界の主要な企業を対象に気候変動や水資源、森林保全に関する事業リスクや事業機会などの情報を毎年収集・分析し、その結果を公表しています。

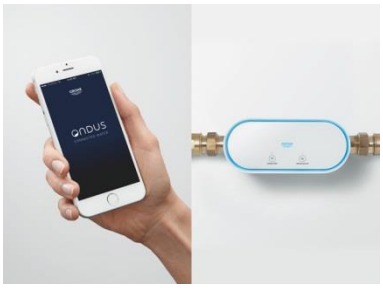
LIXIL グループでは、コーポレート・レスポンシビリティ（CR）戦略に基づき、「グローバルな衛生課題の解決」「水の保全と環境保護」「多様性の尊重」の 3 つの分野に焦点をあて、事業活動を通じた社会課題への解決に取り組んでいます。特に水資源に関しては、次のような活動を行っています。

「水の保全と環境保護」

- グループの全生産拠点において水リスク調査を継続的に実施し、リスクが高いと判断された拠点では水循環システムの構築や節水対策、排水管理など、地域の課題にあわせたプロジェクトを設計、目標や計画を策定し、着実な取り組みを進めています。
- 節水性能の高いトイレや必要に応じた吐水量や吐水温度で水を供給する水栓金具、水漏れの早期発見と被害拡大を防止するスマートウォーターコントローラー「GROHE Sense Guard」など、水に関わる課題を解決する幅広い製品やサービスを開発・提供をしています。また、それぞれの環境性能の定量化を実施し、訴求・拡販を推進しています。

アメリカンスタンダードの「VorMax UHET」は従来モデルよりも約 20%の節水※2ができるトイレです。

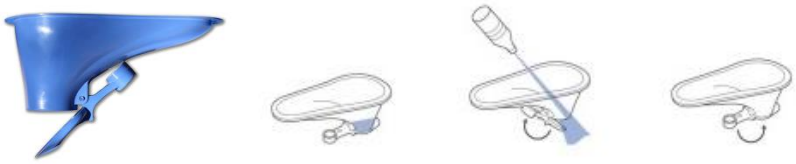
INAX のパブリック手洗いシステム「加温自動水栓」は、パウダースペースで必要なときに必要な水温まで瞬間的に加温できる技術によって高い省エネ効果を発揮します。



遠隔制御装置「GROHE Sense Guard」は、スマートフォンのアプリとセットで使うことで、異常を感知すると直ちに通知が届き、水道の供給を止められます。

「グローバルな衛生課題の解決」

- 2025 年までに 1 億人の衛生環境を改善することを目標に掲げ、各市場のインフラ、所得水準、環境的制約などの特性やニーズに合わせた衛生ソリューションの研究開発を行っています。革新的で低価格な開発途上国向け簡易式トイレシステム「SATO」の提供を通じて、安全で衛生的なトイレが利用できない国々において、生産・販売体制の構築、雇用促進、インフラ整備や衛生意識の改革などを行い、劣悪な衛生環境が引き起こす社会課題、河川汚染の改善に貢献しています。



開発途上国向け簡易式トイレシステム「SATO」
排泄物を流すとカウンターウエイト式の弁が閉まり、ハエなどの虫による病原菌の媒介、
及び悪臭を低減する仕組みになっています。

今回の評価について LIXIL グループ 執行役専務 技術担当 兼 Chief Technology Officer（CTO）二瓶亮は次のようにコメントしています。

「LIXIL は、世界中の人びとの豊かで快適な暮らしの実現を通じて社会に貢献することを、企業としての目的に掲げています。そして、『水』は、トイレ・キッチン・水栓金具などを製造するメーカーである当社のビジネスの中核にあります。製造過程における節水や排水管理はもちろん、節水・防汚などの環境性能が高い水まわり製品やサービスの提供を通して、ステークホルダーの皆さまとともに水資源の保護に向けた活動を進めてきました。今年もその活動が高く評価されたことを誇りに思います。今後は、かねてより LIXIL が取り組んできた浄水技術も活用しながら、グローバルな水の持続可能性を追求し、地球環境と当社事業の持続性をさらに高めてまいります」

LIXIL グループは、2019 年 11 月にコーポレート・レスポンシビリティの目標を更新しました。水の保全と環境保護の分野においては、2016 年 3 月期に設定した環境ビジョン※3 の実現を目指した活動により事業所からの二酸化炭素排出原単位の削減目標を計画の 2 年前倒しで達成したことを受け、2050 年に向けた新たな環境ビジョンを設定しました。

先日発表された、「CDP 気候変動 2019」調査においても、昨年の B 評価よりも高い A マイナス評価を取得しました。LIXIL グループでは CO2 排出実質ゼロに向けて「RE100※4」に参加し、京都ショールームや LIXIL グループ本社で 100%再生可能エネルギー由来の電力をすでに採用しており、今後も様々な事業拠点で導入していく予定です。このように、事業プロセス全体を通じて、水資源やエネルギーの保全に努め、環境負荷の低減と持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※1:CDP は運用資産総額 100 兆ドルを有する 800 を超える機関投資家を代表して、企業へ気候変動や水保全の取り組みに関する質問書を配布し、回答データを投資家へ開示する非営利団体です。HP：https://www.cdp.net/

※2:アメリカ合衆国環境保護庁（EPA）調べ。同庁が推進する WaterSense による 2018 WaterSense Sustained Excellence Award を獲得。参照：https://www.epa.gov/watersense/watersense-awards

※3: LIXIL グループ コーポレート・レスポンシビリティ報告 2016（p19）：
https://www.lixil.com/jp/sustainability/cr_library/pdf/LIXIL_CR2016_ja_v1.pdf

※4:事業で使用する電力の 100%を再生可能エネルギーにすることを目指す企業イニシアチブ

- LIXIL コーポレート・レスポンシビリティについてはこちらよりご覧ください。
  https://www.lixil.com/jp/sustainability/reporting/pdf/LIXIL_CR2019_ja.pdf
- CDP ウォーターセキュリティ A リスト、および回答企業のスコアは、以下の URL よりご覧ください。
  https://www.cdp.net/en/scores

■LIXIL のコーポレート・レスポンシビリティ（CR）戦略について

LIXIL は、責任ある持続可能なイノベーションを追求し、世界中の人びとの暮らしの質の向上とビジネスの成長を同時に実現することを目指しています。事業戦略と CR 戦略の一体化を進めるとともに、「グローバルな衛生課題の解決」、「水の保全と環境保護」と「多様性の尊重」の 3 つの分野に焦点を当て、積極的な取り組みを推進しています。こうした取り組みを通じて、国連が掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献しています。

■LIXIL について

LIXILは、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約75,000人の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。LIXILなどのブランドを展開する、株式会社LIXILグループ（証券コード: 5938）は、2019年3月期に1兆8,326億円の連結売上高を計上しています。
LIXILについて：www.lixil.com/jp、https://www.facebook.com/lixilcorporation/